

2014年3月27日

**2014年夏ダイヤ定期航空会社別スケジュール発着回数等について**

成田空港における2014年夏ダイヤ定期航空会社別スケジュール発着回数等を取りまとめましたので発表いたします。

なお、本発着回数は、冬夏ダイヤへの切り替え後、各社の運航スケジュールが定期的に推移し始める時期(4月6日～4月19日の14日間)の発着回数情報をもとに当社が独自に集計したものです。

詳細は別紙(2014年夏ダイヤ定期航空会社別スケジュール発着回数)をご参照ください。

※数値の比較対象期間 2013年冬ダイヤ(2013年11月10日～11月23日の14日間)

2013年夏ダイヤ(2013年4月7日～4月20日の14日間)

**【概要】**

- 週間発着回数は、総計 4,218 回で過去最高を更新

(対2013年冬+78回、対2013年夏+74回)

**【内訳】**

〔国際線〕対2013年冬 +2回 (旅客便 ▲16回、貨物便 +18回)

対2013年夏 +12回 (旅客便 +18回、貨物便 ▲6回)

〔国内線〕対2013年冬 +76回 (旅客便 +76回、貨物便 ±0回)

対2013年夏 +62回 (旅客便 +56回、貨物便 +6回)

～対2013年冬の主な要因～

〔国際線〕・旅客便

羽田空港国際線2次増枠の影響による全日本空輸・日本航空等の減便・運休(▲126回)

ハニエアの新規就航、セブパシフィック航空の新規就航、フィリピン航空の増便等(+166回)

その他減便・運休(▲56回)

・貨物便

フェデラルエクスプレスの増便等(+18回)

〔国内線〕・旅客便

ハニエアの新規就航、ジェットスター・ジャパンの高松線就航および札幌線の増便等(+174回)

日本航空の札幌線・名古屋線・福岡線の減便等(▲98回)

- 航空会社数は、82 社で歴代 3 位 (対 2013 年冬 ▲2 社、対 2013 夏 ▲1 社)

【対 2013 年冬の増減内訳】

〔追加〕 ハニラエア、セブパシフィック航空

〔撤退〕 ウラジオストク航空、エジプト航空、TAM ブラジル航空、エバーグリーン航空

- 就航都市数は、海外 100 都市、国内 15 都市の合計 115 都市で歴代 2 位

(対 2013 年冬 [海外]▲1 都市、[国内]±0 都市、対 2013 年夏 [海外]+2 都市、国内+4 都市)

【対 2013 年冬の増減内訳】

〔追加〕 ラホール線(パキスタン国際航空)、デュッセルドルフ線(全日本空輸)、ヴェネツィア線(アリタリア-イタリア航空)、  
タシケント線(ウズベキスタン国営航空)、高松線(ジェットスター・ジャパン)、米子線(スカイマーク)

〔運休〕 カラチ線(パキスタン国際航空)、天津線(全日本空輸)、ミュンヘン線(全日本空輸、ルフトハンザドイツ航空)、  
クライストチャーチ線(ニュージーランド航空)、ダーウィン線(ジェットスター)、石垣線(スカイマーク)、旭川線(スカイマーク)

2014年夏ダイヤ 定期航空会社別スケジュール発着回数

2014年3月27日  
成田国際空港株式会社

(1) 国際線 (旅客便)

(単位:回)

区分	略号	航空会社名	週間発着回数			増減		
			14夏①	13冬②	13夏③	①-②	①-③	
第1ターミナル北ウイング	ACI	エア・カレドニア・インターナショナル	10	8	8	2	2	
	AFL	アエロフロート・ロシア航空	14	14	14	0	0	
	AFR	エアフランス航空	14	28	28	△ 14	△ 14	
	AMX	アエロメヒコ航空	6	6	6	0	0	
	AZA	アリタリア・イタリア航空	28	26	28	2	0	
	CSA	チェコ航空★ (KALとのコードシェア)						
	CSN	中国南方航空	30	30	30	0	0	
	DAL	デルタ航空	262	286	318	△ 24	△ 56	
	GIA	ガルーダ・インドネシア航空	28	28	28	0	0	
	HVN	ベトナム航空	38	38	38	0	0	
	KAL	大韓航空	98	94	126	4	△ 28	
	KLM	KLMオランダ航空	16	18	22	△ 2	△ 6	
	KQA	ケニア航空★ (KALとのコードシェア)						
	VIR	ヴァージンアトランティック航空	14	14	14	0	0	
	VLK	ウラジオストク航空 (撤退)	0	0	12	0	△ 12	
	第1ターミナル北ウイング 合計 (14社)			558	590	672	△ 32	△ 114
	第1ターミナル南ウイング	AAR	アジアナ航空	56	56	56	0	0
		ABL	エアバス	14	14	14	0	0
		ACA	エア・カナダ	36	30	36	6	0
AJX		エアージャパン	14	14	14	0	0	
ANA		全日本空輸	476	526	482	△ 50	△ 6	
ANZ		ニュージーランド航空	14	12	14	2	0	
AUA		オーストリア航空	12	12	14	0	△ 2	
BER		エアベルリン★ (ETDとのコードシェア)						
CCA		中国国際航空	86	86	86	0	0	
CDG		山東航空★ (ANAとのコードシェア)						
CSZ		深セン航空★ (ANAとのコードシェア)						
DLH		ルフトハンザドイツ航空	14	28	28	△ 14	△ 14	
ETD		エティハド航空	14	14	14	0	0	
EVA		エバー航空	42	36	28	6	14	
JAI		ジェットエアウェイズ★ (ANAとのコードシェア)						
MGL		MIA Tモンゴル航空	4	4	4	0	0	
MSR		エジプト航空 (撤退)	0	0	4	0	△ 4	
QTR		カタール航空 (14年夏ダイヤより第2PTBへ移転)	-	14	14	△ 14	△ 14	
SAA		南アフリカ航空★ (ANAとのコードシェア)						
SAS		スカンジナビア航空	14	14	14	0	0	
SIA		シンガポール航空	42	42	42	0	0	
SWR		スイスインターナショナルエアラインズ	14	14	14	0	0	
TAM		TAMブラジル航空★ (ANAとのコードシェア) (撤退)						
THA		タイ国際航空	42	42	42	0	0	
THY		ターキッシュ エアラインズ	28	28	14	0	14	
UAL	ユナイテッド航空	210	224	224	△ 14	△ 14		
UZB	ウズベキスタン国営航空	2	0	2	2	0		
VAU	ヴァージン・オーストラリア★ (SIAとのコードシェア)							
第1ターミナル南ウイング 合計 (25社)			1,134	1,210	1,160	△ 76	△ 26	
第1ターミナル 合計 (39社)			1,692	1,800	1,832	△ 108	△ 140	
第2ターミナル	AAL	アメリカン航空	52	52	56	0	△ 4	
	AIC	エア インディア	6	10	10	△ 4	△ 4	
	ALK	スリランカ航空	8	8	8	0	0	
	AMU	マカオ航空	8	8	4	0	4	
	ANG	ニューギニア航空	2	4	2	△ 2	0	
	AWE	USエアウェイズ★ (AALとのコードシェア)						
	BAW	ブリティッシュ・エアウェイズ	14	14	14	0	0	
	BKP	バンコク・エアウェイズ★ (JALとのコードシェア)						
	CAL	チャイナエアライン	62	56	56	6	6	
	CEB	セブパシフィック航空	14	0	0	14	14	
	CES	中国東方航空	44	44	44	0	0	
	CPA	キャセイパシフィック航空	70	70	70	0	0	
	ESR	イースター航空	14	14	14	0	0	
	FIN	フィンランド航空	14	14	14	0	0	
	JAL	日本航空	554	580	542	△ 26	12	
	JJA	チェジュ航空	28	28	0	0	28	
	JST	ジェットスター	24	34	32	△ 10	△ 8	
	LAN	ラン航空★ (JALとのコードシェア)						
	MAS	マレーシア航空	36	36	30	0	6	
	PAL	フィリピン航空	70	26	24	44	46	
	PIA	パキスタン国際航空	4	4	4	0	0	
	QFA	カンタス航空	14	14	14	0	0	
	QTR	カタール航空 (14年夏ダイヤより第1PTBから移転)	14	-	-	14	14	
	SBI	S7航空	10	10	8	0	2	
	SCO	スクート	14	14	14	0	0	
	THT	エア タヒチ ヌイ	4	4	4	0	0	
	TNA	トランスアジア航空	14	14	0	0	14	
	TSO	トランスエアロ航空 ※1	0	0	0	0	0	
	UAE	エミレーツ航空	14	14	14	0	0	
	WAJ	エアアジア・ジャパン (撤退)	0	0	28	0	△ 28	
	VNL	バニラエア	56	0	0	56	56	
	第2ターミナル 合計 (30社)			1,164	1,072	1,006	92	158
旅客便 合計 (69社)			2,856	2,872	2,838	△ 16	18	

・航空会社欄「★」:コードシェアのみの航空会社  
 ・    :2013年冬ダイヤ当初と比較して新規就航となった航空会社  
 ・    :2014年夏ダイヤより撤退となった航空会社

(2) 国際線 (貨物便)

(単位:回)

区分	略号	航空会社名	週間発着回数			増減	
			14夏①	13冬②	13夏③	①-②	①-③
貨物便	AAR	アジアナ航空	6	4	6	2	0
	ABW*	エアブリッジカーゴ	4	4	4	0	0
	AFL	アエロフロート・ロシア航空 (撤退)	0	0	8	0	△ 8
	AFR	エアフランス航空	2	2	4	0	△ 2
	AHK*	エアホンコン	12	12	12	0	0
	AJX	エアージャパン	14	12	12	2	2
	ANA	全日本空輸	76	72	74	4	2
	CAL	チャイナエアライン	8	8	8	0	0
	CAO*	中国国際貨運航空	10	10	10	0	0
	CKK*	中国貨運航空	4	4	4	0	0
	CPA	キャセイパシフィック航空	16	16	16	0	0
	EIA*	エバーグリーン航空 (撤退)	0	0	2	0	△ 2
	EVA	エバー航空 (運休)	0	4	4	△ 4	△ 4
	FDX*	フェデラルエクスプレス	96	80	88	16	8
	GEC*	ルフトハンザカーゴ	10	14	14	△ 4	△ 4
	KAL	大韓航空	14	14	14	0	0
	MAS	マレーシア航空	4	4	4	0	0
	NCA*	日本貨物航空	106	106	96	0	10
	PAC*	ボーラーエアカーゴ	34	32	38	2	△ 4
THA	タイ国際航空	2	2	2	0	0	
UPS*	ユナイテッドパーセルサービス	46	46	50	0	△ 4	
貨物便 計 (19社 *うち貨物専用9社)			464	446	470	18	△ 6
国際線 計 (78社)			3,320	3,318	3,308	2	12
日平均			474	474	473	0	1

(3) 国内線 (旅客便・貨物便)

(単位:回)

区分	略号	航空会社名	週間発着回数			増減		
			14夏①	13冬②	13夏③	①-②	①-③	
旅客便	ANA	全日本空輸	182	196	196	△ 14	△ 14	
	APJ*	ピーチ・アビエーション	34	28	0	6	34	
	IBX*	IBEXエアラインズ	28	42	42	△ 14	△ 14	
	JAL	日本航空	98	168	168	△ 70	△ 70	
	JJP*	ジェットスター・ジャパン	356	290	208	66	148	
	SKY*	スカイマーク	84	80	140	4	△ 56	
	WAJ	エアアジア・ジャパン (撤退)	0	0	70	0	△ 70	
	VNL	バニラエア	98	0	0	98	98	
	旅客便 計 (7社 *うち国内線のみ就航4社)			880	804	824	76	56
	貨物便	ANA	全日本空輸	18	18	12	0	6
貨物便 計 (1社)			18	18	12	0	6	
国内線 計 (4社)			898	822	836	76	62	
日平均			128	117	119	11	9	

(4) 総計

(単位:回)

総計	区分	週間発着回数			増減	
		14夏①	13冬②	13夏③	①-②	①-③
	国際・国内線 計		4,218	4,140	4,144	78
日平均		602	591	592	11	10

●乗り入れ航空会社数 : 82社 ※2013年冬ダイヤ当初 84社

- ・2013年冬ダイヤ当初と比較して新規就航となった航空会社 【2社】  
 [2013年冬ダイヤ中の新規就航会社] バニラエア  
 [2014年夏ダイヤ当初からの新規就航会社] セブパシフィック航空
- ・2013年冬ダイヤ当初と比較して運休となった航空会社 なし
- ・2013年冬ダイヤ当初と比較して撤退となった航空会社 【4社】  
 ウラジオストク航空、エジプト航空、TAMブラジル航空、エバーグリーン航空

※1 トランスエアロ航空については、2014年6月23日～2014年9月22日運航予定

●乗り入れ都市数 : [海外]100都市 (34ヵ国 3地域) [国内] 15都市 合計 115都市 (3地域は香港、マカオ、台湾)  
 ※2013年冬ダイヤ当初 [海外] 101都市 (33ヵ国 3地域) [国内] 15都市 合計 116都市

- ・2013年冬ダイヤ当初と比較して追加となった都市 【6都市】  
 [2013年冬ダイヤ中の追加] ラホール (旅客)、高松 (旅客)、米子 (旅客)  
 [2014年夏ダイヤ当初からの追加] デュッセルドルフ (旅客)、ヴェネツィア (旅客)、タシケント (旅客)
- ・2013年冬ダイヤ当初と比較して運休となった都市 【7都市】  
 [2013年冬ダイヤ中の運休] カラチ (旅客)、天津 (貨物)  
 [2014年夏ダイヤ当初からの運休] ミュンヘン (旅客:2014年3月30日まで運航)、クライストチャーチ (旅客、経便のみ)、ダーウィン (旅客)、石垣 (旅客)、旭川 (旅客:2014年3月31日まで運航)

・この表は、IATA調整後のデータに基づきANAにて週間発着回数を独自にとりまとめたものであり、国土交通省が取りまとめた数値とは一部異なる。

・2014年夏ダイヤは、2014年3月30日～2014年10月25日までの期間である。本発着回数は、冬夏ダイヤの切り替え後、各社の運航スケジュールが規則的に推移し始める時期の2週間分の発着回数を平均し算出している。2014年夏ダイヤにおける集計対象期間は、2014年4月6日～4月19日(14日間)とした。

・2013年冬ダイヤの週間発着回数は2013年11月10日～11月23日(14日間)を、2013年夏ダイヤの週間発着回数は2013年4月7日～4月20日(14日間)の発着回数をそれぞれベースとしている。

## 2014 年夏ダイヤ開始時点における新規就航等について

3月30日(日)より2014年夏ダイヤによる運航が始まり、成田空港においても下記のとおり、各航空会社による新規就航・路線開設・増便が開始されます。成田空港は今後も、さらなるネットワーク拡大に向けて、努力して参ります。

新規就航については、フィリピンを代表するLCCであるセブパシフィック航空が成田＝マニラ線を開始します。同社は1996年3月に航空業界に参入して以来、「low fare, great value」のもと、低運賃ながら高いサービスを提供することにより顧客を獲得し、自社のネットワークを拡大してきました。同社の就航により、成田＝マニラ間の旅行における時間帯や航空運賃の選択肢が拡大します。

またANAがデュッセルドルフ線を、アリタリア-イタリア航空がヴェネツィア線を新規に開設します。デュッセルドルフは、欧州でロンドン・パリに次ぐ3番目の規模を有する日系コミュニティを形成し、日系企業も多数進出している欧州の主要な産業都市のひとつです。また、ヴェネツィアは水の都として街そのものが世界遺産に登録されている美しい都市です。アジアとヴェネツィアを結ぶ定期路線としては、今回の成田線が初となり、年間1200万人の観光客が訪れるイタリア屈指の観光地へ直行できるようになります。この2都市への路線開設により、成田空港から欧州への就航先が増え、同地域を周遊する上での利便性が向上します。

増便については、日本航空がニューヨーク線を、ユナイテッド航空がヒューストン線をそれぞれダブルデイリー運航とします。この増便により、北米へのネットワークが強化されるとともに、同2都市を経由することで、中南米方面へのアクセス利便性も向上します。

詳細については、各航空会社の公式ホームページをご参照下さい。

### 記

#### → 新規就航・路線開設・増便(夏ダイヤ開始時)

	航空会社	就航先	備考
新規就航	セブパシフィック航空	マニラ	3月30日より毎日運航
路線開設	全日本空輸	デュッセルドルフ	3月30日より毎日運航
	アリタリア-イタリア航空	ヴェネツィア	4月2日より週2便運航
増便	日本航空	ニューヨーク	3月30日より週7便から週14便に増便
	ユナイテッド航空	ヒューストン	3月31日より週7便から週14便に増便